

2022年度公益財団法人日本芸術協会奨学金 第1回活動報告書（2022/07/26）

村上祐介（indust-film、映画制作）

引き続き奨学金対象者に選んでいただけた事、とても励みになっております。ありがとうございます。今年も連続ドラマ「portrait(s)」に取り組んでいきます。コロナ禍が続いていますが、インディペンデントな体勢だからこそそのフットワークの軽さを活かして制作を進めていきます。

< 「portrait(s)」進捗報告：撮影継続中 >



セクシャルマイノリティ(LGBT)の多様な人が登場する連続ドラマ「portrait(s)」は年明け1月から今年の撮影を開始しました。2020年6月より始動した今作は、スタートから早2年が経過する長期プロジェクトになっています。

今までは長編の映画を2～3年の単位で企画制作し、映画祭へ出していくというのが主な活動でした。「portrait(s)」は初めて連続ドラマという形式に挑戦しています。約2時間の長編映画とは違い、連続ドラマという形式だからこそ出来る事があり、もしかしたら自分の表現は連続ドラマに向いているかもしれないという思いが今回のプロジェクトの発端にあります。そしてYOUTUBEで直接公開していくというのも初めての事です。視聴者からいろいろな反応を頂けてる事が励みであり、今までとは違うところです。

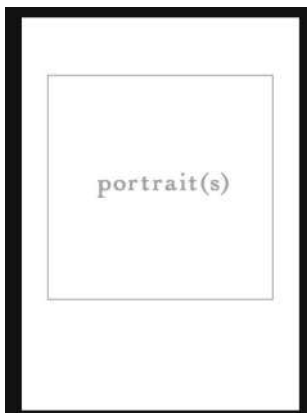


そんな手探りな制作の中で、キャストの皆さんのご協力とご理解のおかげで、制作を進める事が出来ています。本当にありがたく、撮影出来る喜びを感じています。



< 「portrait(s)」 進捗報告：印刷物を制作しました >

「portrait(s)」を告知するツールとしてA7サイズのミニチラシを、出演者でもある都雄介さんにご協力いただき制作しました。表面はドラマ映像内でも使用している、ポラロイド写真やチェキのイメージをモチーフにした四角の枠にタイトルだけのシンプルなデザインで、希望のキャストそれぞれの画像をシールで制作し、表面の枠に合わせて貼ってもらう事で、キャスト自身の宣材としても使ってもらえるような形に制作しました。



ポラロイド写真やチェキのイメージをモチーフにした四角の枠にタイトルだけのシンプルなデザインで、希望のキャストそれぞれの画像をシールで制作し、表面の枠に合わせて貼ってもらう事で、キャスト自身の宣材としても使ってもらえるような形に制作しました。



合わせて、ポスター、ポストカード、A4チラシ、三つ折りチラシも制作しました。今後、B5版のチラシも制作する予定です。



< 「portrait(s)」 進捗報告：第4話を公開しました >



第4話「間違い探し」を2022年5月にYOUTUBEにて公開しました。

<https://youtu.be/KekxIsxMp8k>

第4話ではクローゼット（セクシャリティを隠している）ゲイが主人公です。同僚との会話のシーンがメインで、当事者が感じる違和感やあるあるといった感じが会話のやりとりの中にもうまく織り込めたんじゃないかと、自分なりには気に入っています。ただ、そんな15分に及ぶ長い脚本を、何度も書き直したりしている内に、お渡しするのが撮影の3～4日前になってしまいました。演じるキャストにとっては大変な状況だったと思いますが、完璧に覚えて撮影に臨んでいただき、とても助かりました。



第4話もたくさんの視聴をいただき、1万回視聴が目前となっています。当初はオンラインで発表する事でどのような反応があるのか不安でしたが、発表の度に視聴者からコメントをいただき、今はとても励みになっています。

< 「portrait(s)」 進捗報告：子役面談を行いました >



「portrait(s)」では今後、思春期のセクシャルマイノリティのシーンを撮影予定です。その為、以前からお力添え頂いている事務所を含めご連絡させていただき、子役を募集しました。そしてたくさんの応募をいただきました。38名の方と面談させていただきました。台詞の読み合わせの前にはハラスメントについて説明させていただきました。昨今、映画やドラマなどの制作現場ではハラスメントの問題が大きく取り上げられています。子ども達にとっても、スタッフ

にとっても、安全な撮影が行えるように、「おぼえがき」と称したハラスメントを起こさない旨の書面を用意し、面談時に説明させていただきました。

子役のみなさんに参加してもらうのは、学校の1クラス約30名のシーンを予定していますが、僕の中では最大人数の規模の撮影になります。上手くやりきれぬのか今からとても不安ですが、準備も含めて頑張りたいと思います。

< 「あなたとの距離について」チラシを制作しました >



映像グランプリ受賞作品上映会で「あなたとの距離について」を再度上映して頂ける事になり、告知の為のチラシを制作しました。「あなたとの距離について」はゲイが主人公として登場するので、関西のセクシャルマイノリティの為のスペースやコミュニティセンターに連絡し、チラシを置かせて頂きました。

次回の報告では30名の子役との撮影についてや、年末には上映会の開催を予定しているので、その報告が出来ればと思います。